目 次

はじめに

第 I 編 バスサービスを取りまく環境と地域の役割 … 1

1 章	バスサービスの役割と諸問題	1
1.1	市民の足を守る	1
1.2	公共交通体系におけるバスの役割	1
1.3	サービス供給制度の原理と変革の必要性	2
1.4	費用負担と競争的市場の整備	3
2 章	規制緩和に伴う環境の変化	4
3 章	地域・自治体（行政）が果たすべき役割	6
3.1	コミュニティバスの流行と意義	6
3.2	コミュニティバスの危険性とその克服	8
3.3	市民の足を守る政策の推進主体としての自治体	10
4 章	政策科学的手法による総合交通計画の策定	11
4.1	基本構想の重要性	11
4.2	公共交通計画の策定	12
4.3	サービス供給計画の策定	13

第 II 編 政策課題への対処の基本的手順と留意事項 … 15

概 説	15	
課題例 1	事業者から路線廃止の届出が出された	18
課題例 2	事業者からサービス切り下げの打診があった	26
課題例 3	新規の参入希望が出された	34
課題例 4	自治体負担が増大しているため、自治体の制度を見直したい	40
課題例 5	市町村合併に伴い公共交通サービスを再編したい	47
課題例 6	バス優先の交通計画を策定したい	55
課題例 7	路線の再編を行いたい	65
課題例 8	コミュニティバスを走らせたい	71
課題例 9	DRT 型のバスを走らせたい	79
課題例 10	ボランティア輸送を実施したい	88
課題例 11	住民が主体となって新しくバスを走らせたい	97

第Ⅲ編 分析・計画の技術と手法	105
1章 バスサービスの市場とサービス供給体制	105
1.1 バスの「市場」とは何か	105
1.2 従来の需給調整と路線免許の意義	106
1.3 市場形成は交通計画の中で	107
1.4 交通（いわゆる路線）計画の策定	109
1.5 競争による市場の分割＝路線事業者の決定	111
1.6 地域行政による路線管理の実施に向けて	113
1.7 路線バスサービスをめぐる各主体のかかわり方	114
2章 調査	120
2.1 概要	120
2.2 既存調査データ活用の可能性と限界	122
2.3 交通実態・ニーズの把握	135
2.4 生活実態調査	151
2.5 乗降実態調査	158
2.6 意識調査	166
2.7 潜在ニーズ調査	173
2.8 運行状況調査	184
3章 分析	186
3.1 概要	186
3.2 経営環境の分析	188
3.3 生活・交通実態の分析	197
3.4 ニーズの充足状況の分析	207
3.5 利用者数の推計	216
3.6 費用構造分析	225
3.7 生産性分析	236
3.8 採算性分析	243
4章 設計	249
4.1 概要	249
4.2 市場整備	251
4.3 公共負担方式の設計	258
4.4 住民参加	269
4.5 運営・運行方式に関わる制度	276
4.6 事業者選定	290

4.7	補助金制度	294
4.8	路線網設計	304
4.9	運行形態の選定	319
4.10	運行計画	322
4.11	運賃設定	335
4.12	施設整備	341
4.13	車両選定	355
5章	評価	361
5.1	概要	361
5.2	サービスの評価	362
5.3	事業評価	368
5.4	政策評価	374
6章	利用促進策	380
6.1	概要	380
6.2	一般的なプロモーション手法	381
6.3	案内情報提供	387
6.4	調査を活用した利用促進	396
6.5	社会実験	402
	おわりに	407
	付録	409
A.1	運行届出申請	409
A.2	補助金申請	416
	索引	425